

七二会小学校 丸太の遊具づくり

長野市立七二会小学校では、創立120周年記念事業として、学校林の木を使って、学校の中庭に丸太の遊具を作る企画があり、SFWが施工することになりました。

学校林から運ばれてきた木材は、長さ4m、太さ30cm前後のカラマツとスギが5本ずつです。

丸太のベンチを作る方法で、枕の太さを変えて少し勾配を付け、低学年から高学年まで遊べるものとして計画しました。中庭のレイアウトは自由なので図面は割と簡単に書けますが、現物は太く重いのでうまく配置できるか心配です。

まずは木材の皮むきです。スギは昨年の11月ごろ地域の方が伐採したようですが、思ったより簡単に皮がむけます。カラマツは切り立てのためか綺麗にむけますが、小さなトゲがチクチクして不快です。

暑いので午前中だけの半日仕事を3回ほどで、児童が皮むき体験する材を除いて全て皮が剥けました。しかし剥いた皮が大量に出るので、やはり山で皮をむいてくるべきだと思いました。

また暑さ対策と雨よけを兼ねて、ブルーシートを張ってその下で作業ができるようにしてもらったので、暑さは少ししのげました。それでも汗だくです。熱中症に気を付けて水分補給や休憩を取りながらの作業となりました。

8月6日は、大勢参加してくれたので、皮むき、防腐剤塗布、加工の3つの作業に分かれて行いました。作業スペースが狭いのと、材が重



ブルーシートの下で防腐処理作業



丸太の遊具を置く中庭で丸太の加工



スギとカラマツの皮むき

いという条件の中、枕木の上で転がして入れ替えたりして、スムーズに作業が進みました。材を組み合わせしてナンバーリングをし、再度分解して防腐剤を塗りました。この後、学校行事に合わせて作業が中断となりました。

七二会小 丸太遊具づくり	1
小川村裏山ランド整備事業	2
軽井沢SC林業体験	3
学校林整備事業など	4

SDGs推進のため、SFWの活動では水や資源の節減、セルフサービスの徹底に協力いただき、環境に優しいマイ箸、マイカップの持参をお願いしています。勿論、ゴミは持ち帰りが原則です。

9月3日 七二会小学校 林業体験

七二会小学校の児童26人と保護者が学校林のスギとカラマツを活用して林業体験を行いました。スギは親子で玉切り体験を行い、カラマツは皮むき体験を行いました。また防腐処理の刷毛塗りも体験したいということで、前回防腐処理した材の上塗りを行いました。

この日は降ったり止んだりの小雨模様でテントの下で行いましたが、雨具が必要というほどではなく何とか行うことができました。

このような体験を子どもの時にするというのはとても良いことで、ましてや親子で力を合わせて行った体験は健全育成にとっても役立つと思います。



スクライバーを使ってスギの皮むき体験

8月11日・20日・27日 小川村裏山ランド整備事業

8月9日に100mmを超える大雨が降った小川村では、あちこちに土砂崩れなどの災害が発生しました。当初、11日は裏山ランドの整備活動を予定していましたが、急遽裏山ランドの被災状況を点検することになりました。

特に堰堤のある東側の沢沿いは心配していた通り、株立ちケヤキの大木が倒れて堰堤の上に覆いかぶさっておりました。また、堰堤より下流に昨年設置したパイプ橋の脚が土砂で押し流され橋が変形していました。

さらに裏山ランド頂上付近の大きなコナラが倒木していましたが、以上の3か所だけで、心配していたほどの被害がなく、早急に対処する必要もなさそうです。小川村には写真を撮って報告しました。

8月20日の活動は、当初計画の通り、歩道整備とロープ張り、遊具の修理、階段の修理と草刈りだったのですが、橋の修理と土砂撤去、倒木処理は災害によって追加した作業です。

倒木処理で得られた枝を活用して階段や土留めの一部に活用できたのはメリットでした。

この日は9人と参加者が多く、それぞれ仕事を割り振って行いましたが途中から雨が本降りとなり、午後の活動は中止しました。階段修理が少し残ってしまいましたがまた次回に行うことにしました。

8月27日は午後から雨予報のため、半日で活動のやりくりをしようと、朝のミーティングで話し合いました。

た。

活動予定は、先週雨でやり残した小川小学校裏山ランドの階段修理と、三本柳小学校の学校林を活用してクラフトに使うプレート作りの2つを優先し、岩草館周辺の草刈りは後に回し、午後の雨が降るまでの作業としました。

午前中が勝負と2班に分かれてそれぞれ活動開始です。小川村へは20分くらいかかるのですが、階段修理を終えて12時過ぎには戻って来ました。プレート作りも2台の丸鋸で行いましたので約900枚を作りました。残りは次回ということにして、午後は全員で草刈りです。草刈りがほぼ終わったところに雨が降り出してきて、とてもラッキーでした。

雨なので少し早いコーヒータイムにし、今後の活動予定などについて話し合い終了しました。



9月4日・10日 軽井沢スケートクラブ 林業体験

9月4日 体験の森準備

9月10日に行う軽井沢スケートクラブの林業体験の下見・準備を行いました。前回の活動からしばらく間が明いていますので草が伸びていましたが、トイレの前だけ刈払いして、あとは自然のままとしました。

除伐・枝打ちの林分で下見し、ウルシは避けるようマーキングしました。更に伐倒・クラフトの林分では伐倒木にマーキングしました。またスタッフ全員が理解するために、実際にクラフト・ゲームをやってみました。

また、9月6日に高原学校で使用するクラフトの材料を調達しました。3クラス105名なので丸太はコンテナ3杯、細い枝は一束程度用意しました。



軽井沢スケートクラブの皆さん、長野市体験の森によろこ

9月10日 軽井沢スケートクラブ 林業体験

「スポーツクラブとして身体を動かすいろいろな体験をして、各自いろいろなことを感じ、人間力を高める」という目的で、林業体験教室を長野市体験の森で行いました。

メンバーは小中学生20名と引率者3名で自前のマイクロバスに乗って8時半に到着しました。予定では9時半着。その前に道具の配置などの準備をするつもりでしたので、少々慌てて準備し、9時には始めの式から「森と環境の話し」など一連の流れができました。

ヘルメットと手ノコを付けてまずは除伐体験です。目的がはっきりしているためか、積極的に作業し、1時間半程 熱心に取り組むことができました。

休憩をはさんで同じ林分で枝打ち体験です。これも面白いのかどンドン上まで枝打ちし、スタッフが慌てるほどです。昼休みには薪割り体験です。小さい子も上手に割れて歓声が上がっていました。

午後は2班に分かれ1本ずつ伐倒し、それを使って棒リングを作りました。棒リングは森の中で行うスポーツゲームなので、とても楽しく白熱した試合ができました。心配した雨もなく、ほぼ予定通りに進み、みんな楽しかったと言って帰路につきました。将来オリンピックの選手が輩出されるのでは?と思うほどでした。



スギ林で枝打ち体験



除伐してクラフトの材料に使います

9月28日 城山小学校高原学校 クラフト教室(児童52人)

今回のクラフト教室は、9月27日が雨の場合は体育館で、晴れの場合は飯綱山に登るので28日に、という流動的な依頼でした。受ける側としては、両日に対応できるようにしなければならないのですが、子どもたちのためと思い、引き受けました。結局27日は晴れ、クラフトは28日の雨上がりで少し湿気っぽいカラマツ林の中です。

普通の教室とは違った自然の中でもう少し時間が欲しい所ではあり、思う存分とはいきませんが、それぞれに楽しめたようです。出来上がった作品は大切に持ち帰りました。

終わりの式で、児童代表の御礼の挨拶がとても立派で感心しました。

9月6日 緑ヶ丘小学校高原学校 クラフト教室(児童105人)

緑ヶ丘小学校が初めて飯綱の高原学校でクラフトを行いました。3クラスでクラスごとに活動しましたが、きちんと挨拶や片づけもできて、良い雰囲気でのクラフト教室になりました。

準備の方も他の体験活動と同時に行い、材料調達などやり繰りしておいたので、比較的スムーズに行きました。

7月23日 松ヶ丘小学校ぼくらの裏山プロジェクト(親子40名参加)

ナイトハイクは普段は経験できない夜の山に入り、昆虫を見つけたり、街の夜景を眺めたり、真っ暗闇で鳥の声や自然の音を聞いたり、大人でもわくわくするような体験ができて、毎年人気のプログラムです。

過去2～3年、ナイトハイクは雨にたたれていましたが、今年は久々に晴れたぶん、なかなか暗くなりません。古墳公園を先に歩き、カブトムシ等の昆虫を探したりしながら時を待ちます。真っ暗になってから、いよいよ裏山に入り、第一展望台を目指しました。真っ暗闇のなか、どうしても誰かが懐中電灯をすぐに点けたくってしまい、真っ暗な山はやはり怖いのかもかもしれませんね。開始前に設置したライトトラップも街の明かりが明るすぎるのか、あまり集まらず、学校入り口の外灯の方がたくさん虫が集まっていました。

7月7日 中条小学校 木工体験活動支援事業(26名参加)

学校の校庭の西側にある「どんぐり山」は昔から児童が良く遊んでいた広葉樹の森です。今回治山事業により、一部が整備されることになりました。そこで伐採した木を使ってクラフトを行いました。

日差しが強くて中庭では暑いので、始めに話をしてから工作室に移動してクラフトを行いました。伐採木は2m位にまとめられておりましたので、SFWスタッフがチェーンソーで40cm位に玉切りして、児童に好きな木を選んでもらいました。ナラの太目の木を選んだ児童は、なかなか切れませんが、頑張って最後まで切りました。ノコギリの使い方が上手な児童が多く、家でも使った経験があるのではないかと思います。

七夕にちなんで木の短冊を作ったり、みな思い思いの作品を作って見せあっていました。

SFW通信は、ホームページにてPDFがご覧いただけるようになりました。これまでと同様、印刷版が欲しいという方には郵送いたしますので、事務局までご連絡ください。今年の果物は、昨年の反動か、いずれも豊作でリンゴやイチジクを狙ってヒヨドリが群がっています。野生との共生も限度がありますね。

信州フォレストワーク通信では、皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしています。そのほか日頃感じていること、SFWでの活動や体験レポートなどお気軽にお寄せください。ペンネームや匿名での掲載も可能です。なお、記事は紙面の都合により一部編集させていただく場合があります。郵送またはメールにて事務局までお送りください。

NPO 法人信州フォレストワーク
通信編集委員会
〒381-2246 長野市丹波島1-725-5
電話・FAX: 026-285-2573
携帯電話: 090-2658-2044
office@sfw.or.jp
http://www.sfw.or.jp/

